

各 位

2015年2月18日
株式会社リットーミュージック

殺人・人肉食・人体実験・テロ・拷問・暴動・革命・巨根！
世界の歴史はロックで歌われていた!! 世界初のコンセプトによる音楽書



インプレスグループで音楽関連の出版事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古森優）は、100の歴史的エピソードと、それにまつわるロック・ソングを解説した書籍『ロックで学ぶ世界史』を、2015年2月25日に発売します。

本書は、ロック・ミュージシャンの視点から歴史を綴るという世界初のコンセプトによる研究書です。1950年代に誕生したロック・ミュージックは、市井の人々にとっての身近な感心事や、当事者目線での主義主張を歌って来ましたが、本書では100の歴史的エピソードと、それにまつわるロック・ソングを解説します。ロック誕生前の古い年代のエピソードからは欧米の人々にとっての“常識的”な歴史観を伺い知ることができ、また、リアルタイムな問題について歌われた1960年代以降のエピソードでは、当時の人々が事件をどう捉えていたのか、等身大の視点から感じることができます。“この事件はこんな風に捉えられていたのか! ”、“この曲はこんなに深い意味があったのか!”といった発見に満ちた、従来の歴史本や音楽書とはまったく違った1冊の登場です。

■ 書籍の詳細はこちら <http://www.rittor-music.co.jp/books/13317203.html>

■ 書籍

『ロックで学ぶ世界史』

著者：山崎智之

発売：2015年2月25日

定価：(本体1,900円+税)

仕様：A5判／208ページ

発行：リットーミュージック

■ Contents

- 33年 イエス・キリスト磔刑
- 793年 ヴァイキング時代の始まり
- 1206年 ジングス・カン、モンゴル帝国創設
- 1431年 ジャンヌ・ダルク火刑
- 1480年 スペイン異端審問
- 1614年 エルゼベエト・バートリ死亡
- 1620年 ピルグリム・ファーザーのアメリカ上陸
- 1644年 イギリス／アメリカの魔女狩り
- 1789年 フランス革命
- 1815年 ワーテルローの合戦
- 1839年 クーパーズタウンで野球発明
- 1845年 アイルランド大飢饉
- 1846年 ドナー隊遭難事件
- 1848年 チェロキー族インディアンの強制移住
- 1853年 クリミア戦争
- 1854年 日米和親条約
- 1861年 南北戦争
- 1866年 アメリカ黒人騎兵隊結成
- 1888年 切り裂きジャック事件
- 1893年 リジー・ボーデン事件
- 1895年 スタガー・リー・シェルトン事件
- 1900年 ケイシー・ジョーンズ事件
- 1903年 ヴァージニア州列車事故
- 1910年 殺人医師クリッペン事件
- 1911年 トライアングル・シャツウエスト工場火災
- 1912年 タイタニック号沈没
- 1914年 第一次世界大戦勃発
- 1915年 アルメニア人虐殺
- 1916年 怪僧ラスプーチン暗殺
- 1927年 ミシシッピ河の大洪水
- 1929年 世界大恐慌発生
- 1930年 霧社事件

1931年 ダスト・ボウル
1933年 石井 731 部隊の前身、 関東軍防疫部設立
1936年 スペイン内戦
1937年 南京大虐殺
1943年 アウシュヴィッツ収容所の人体実験
1945年 原爆投下
1947年 ブラック・ダリア殺人事件
1952年 水素爆弾の開発
1953年 ポートン・ダウン生物化学兵器研究施設
1957年 スプートニク打ち上げ
1959年 チベット民衆武装蜂起
1960年 ボドム湖殺人事件
1960年 ベトナム戦争
1963年 フィルビー事件
1963年 ハッティ・キャロル殺人事件
1963年 吉展ちゃん事件
1963年 メドガー・エヴァース殺害
1963年 イギリス沼地殺人事件
1963年 ジョン・F・ケネディ大統領暗殺
1965年 ワッツ黒人暴動
1965年 ブラック・パンサー党結成
1966年 ボクサーのハリケーン・カーターによる殺人事件
1966年 テキサス・タワー乱射事件
1966年 ウェールズ・アバファン炭鉱事件
1969年 チャールズ・マンソンのファミリーによる殺人
1969年 北アイルランド紛争
1970年 ケント州立大学射殺事件
1974年 チリのピノチェト独裁政権樹立
1975年 レナード・ペルティエによる警官殺害
1976年 クロディーヌ・ロンジェ事件
1976年 カンボジアのポル・ポト政権樹立
1977年 ゲイリー・ギルモア死刑執行
1977年 北朝鮮による横田めぐみさん拉致
1978年 ユナボマー連続爆破事件
1978年 ガイアナ人民寺院での集団自殺
1979年 16歳少女のサンディエゴ銃乱射
1979年 マーガレット・サッチャー首相就任
1980年 ジョン・レノン射殺
1981年 ヨークシャー・リッパー事件
1981年 ブリクストン黒人暴動
1981年 パリ人肉食事件
1983年 大韓航空機撃墜事件
1986年 サトパル・ラム事件

1987年 バド・ドワイヤー財務官自殺
1988年 テレビ伝道師ジミー・スワガート買春暴露
1989年 ヒルズボローサッカー場暴動
1989年 ベルリンの壁崩壊
1990年 ネルソン・マンデラ釈放
1990年 ブッシュ大統領の新世界秩序
1991年 テキサスのリチャードソン高校自殺
1991年 ジェフリー・ダーマー逮捕
1992年 ロサンゼルス暴動
1993年 ブランチ・ダヴィディアン教団自爆
1993年 トレイシー・ラティマー安楽死
1994年 ルワンダ大虐殺
1995年 地下鉄サリン事件
1998年 ゲイ青年マシュー・シェパード殺害
1998年 ジャック・ケヴォーキアンの自殺装置
1999年 アマドウ・ディアロ射殺
1999年 コロンバイン高校銃乱射
2001年 ドイツ出会い系ゲイ人肉食
2001年 大阪池田小学校無差別殺傷
2001年 アメリカ同時多発テロ
2005年 ロンドン自爆テロ
2005年 ハリケーン・カトリーナ
2008年 チョ・ドゥスンによる女兒レイプ
2011年 東日本大震災
2013年 ボストン・マラソン爆発事件

■ Profile

山崎 智之 (やまざき ともゆき)

1970年、東京生まれの音楽ライター。ベルギー、オランダ、チェコスロバキア(当時)、イギリスで育つ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒業後、一般企業勤務を経て、1994年に音楽ライターに。ミュージシャンを中心に700以上のインタビューを行い、雑誌や書籍、CDライナーノーツなどで執筆活動を行う。『ダークサイド・オブ・ロック』『[激重轟音メタル・ディスク・ガイド](#)』『ロック・ムービー・クロニクル』などを総監修・執筆。実用英検1級、TOEIC945点取得。

1480年

スペイン異端審問

まさかの時のスペイン宗教裁判 我らの武器は驚愕・恐怖・冷酷・法皇への忠誠

イベリア半島の覇権をキリスト教徒とイスラム教徒が争っていた時代、1469年にカスティール王国のイサベル女王とアラゴン王国のフェルディナンド王が結婚したことは、キリスト教によるスペイン王国の統一運動、レコンキスタを大きく前進させることになった。それ以降即位、国王にならなご、両王国は統合、スペイン帝国が生まれる。

スペイン帝国がたつとは、キリスト教の徹底した国教化だった。それまでイスラム教、あるいはユダヤ教を信じていた人々も、カトリックに改宗することを強いられた。

ただ、表面的にはカトリックに改宗しながら密かにイスラム教を信じるキリスト、同じくユダヤ教を信仰するコンヴェルソも多かった。

そんなイスラエルを戴き、排斥したが、異端審問された。1482年にスペイン大審問に任命されたトマス・デ・トルケダは、主にイスラエルを対象に異端審問を行った。彼らは財産を没収され、火あぶりや水責め、宙吊りなどの拷問にかけられた。トルケダが就任後の10年間で2千人を処刑、2万人のイスラエル人がスペインから亡命したという。

1492年のレコンキスタを完了後、そして1498年のトルケダの死後、異端審問は続いた。自ら白紙の手紙は各審問官の裁量に任せていたため、さまざまな創意工夫を凝らした拷問が行われ、そのメカニズムを増幅させたのが、千手ガリテラノの短編小説「闇罪と振子」(1843)だ。銀い刃の付いた振り子で、迫りくる熱した金属製の頭などの大がかりな拷問装置は、我々の知るスペイン異端審問のイメージを決めた。ただ、あまりにイメージが強いゆえに、我々に誤った知識を植え付けたことも事実だ。

大きなイバクトをもちいたのが、T.V.シリス『聖職者イバクト』(1970)だ。マインルベイン演じるシリス枢機卿の味は「まさかの時のスペイン宗教裁判」と呼ぶが、場、拷問、と称して拷問を六つに分けて、世界史の暗黒面をクローズアップする。さらに映画『マル・アルワス/珍説 世界史PART.1』(1984)で異端審問がエピソード化されたことで、スペイン異端審問、止聞くだけ笑いのホラ話として世界に知られた。

そのせいで、音楽の世界においてスペイン異端審問が異色から扱われることは少なく、多くの場合は暗く用いられている。オランダのマル・バンド、エギーはそのもののパリの「スパンニョール」(1995)という曲を発表、「お前のスペイン異端審問でたまたま暗い気持ちを抑える」と、恋愛をテーマにしている。

フランスのメタルバンド、ナイトウィッチは、「闇罪と振子 The Pit And The Pendulum」をもとにした「ナイトワット・マンド・ザ・ペンデュラム」(2000)という14分の大曲を書き、「刃が彼の首を落とす」(空壇に括り付けられ)という歌詞もあるが、異端審問を題材としたものではない。

ドノソに近い関係を異端審問の拷問に喩えたものだ。タイトルはイタリアのフェラティ(口舌)漫画「トルケダ70」の続編の意味合いがあり、また同時にシゲライターとのシズ・ホーが1971年生まれたという点も関係しているのかもしれない。

イギリスのシズ・ロック・グループ、コシエンタの「ワッチ・ダス」(1977)には「イラクサシヨ」というイスラエルを指す曲があるが、ケイリー・ミューアの「スハラニエイト」のギタがあること、異端審問という題名が付けられた。このように婉曲に描かれることが多く、スペイン異端審問が、そんな雰囲気の入ったソフトラール・アルバムも聴きたいものである。



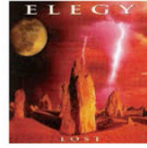
▲異端審問の情景。右中央には裸にされ、刃刺にさらされる人物が描かれている。

写真出典:『改訂新版 歴史の歴史』成田洋/河出書房新社、1999年より引用



『今日の魔女信仰』(トルケダ70)収録

◎エレクトリック・ワイヤード



『ロスト』(スパンニョール)収録

◎エレジー

1644年

イギリス/アメリカの魔女狩り

女はサバトに馬を駆った。そして悪魔と情交した。 奴は魔女なのだ。我は魔女狩り将軍

永井家の漫画『ワイルド』で飛鳥が語る魔女狩りの描写は、鮮烈な衝撃をもたらした。彼曰く、16世紀のヨーロッパには900万人の無実の人間が、針で体を穿たれた、手足をばらばらに切られ、さらされ、拷問されたという。ある日突然、いわれない嫌疑をかけられて拷問されるといふ理不尽な恐怖に、少年少女たちは暗黒の中を渡り、眠れない夜を過ごした。

近年の研究は、実際に魔女裁判にかけられ、生命を失ったのは1万人程度といわれているが、それでも多くの一般市民が前目では報しかた隣人に狩られ、爪を剥かれ、皮膚を削られ、火あぶりになったことは事実だ。

中世末期から近代にかけて魔女狩りがヨーロッパ全土に広まる背景としては、キリスト教会による異端審問が民間レベルまで普及して、民俗信仰と結びついたことが挙げられるが、「悪よ、とらえろ」が表が、裏が汚染されたことにより、幻覚症状が日常化したことが理由ともいわれる。麦角菌の成分であるリゼルギン酸を人工的に合成したのが、LSDである。村の女たちが全裸になってホウキに跨り、それを見た村人は彼女たちが空を飛んでいると思った。狩られる側も側もトリップした状態で、狂気の殺戮が行われたのだ。

月出ない夜、松明の手に歩む悪魔のイメージは、ラッシュの「魔女狩り」(1981)で歌われる。この曲の歌詞は、現代における人権、宗教差別を基づくヘイトクライムも思わせるものだ。



『デスペナルティ』

◎ウィッチファインダー-ジェネラル



『ムウング・ビクチャーズ』(魔女狩り)収録

◎ラッシュ

ヨーロッパの魔女狩りで悪名轟かせたのが、1644年から1646年にかけて300人の、魔女を処刑したマシュー・ホプキンス。清教徒革命の激進する社会情勢に乘じて、彼はウィッチファインダー・ジェネラル(魔女狩り将軍)を名乗り、イギリスを渡り歩いて魔女狩りを請け負っていた。処刑にあたる手続料を受け取るのみならず、彼は魔女嫌疑をかけられたために地元有力者から恨まられる、女性虐待も受けるなどだ。

魔女狩り将軍。はイギリスにおいて文化的アイコンとなり、ホプキンスのT.V.C.M.に彼をイメージしたキャラクターが登場する。お茶の間も浸透している。1968年にワイルド・フライスがホプキンスを演じた映画『ワッチファインダー・ジェネラル』も制作された(ワイルド・フライスは「スライ」のナレーションでもおなじみ)。デイブ・パールは「ワイルド・フライス」(2013)といふ曲を発表している。

1970年代後半にはキリストから、その名もウィッチファインダー・ジェネラルというバッドガイズとなり、アルバム『アス・ペナルティ』(1982)のジャケットでは口乳を露わにした血まみれの裸女、ヌート・モアのジョン・レイサム、が露出された。この撮影は露出を管理する教会の許可を得ず、ゲリラ的に撮影されたことで、付近住民からクレームが上がったという。

ドゥーム・メタル・バンド、カネドールの「ホプキンス」もまた、彼を題材としている。この曲のビデオには映画『ウィッチファインダー・ジェネラル』のシーンが使われているが、曲の後半のサブタイトルは、同じく魔女狩りを題材にした西ドイツ映画『残酷な女刑史』(1970)からとったものだ。サクソンも「ウィッチファインダー・ジェネラル」(2004)を書くことで、魔女狩り将軍はさらに重要なキャラクターだ。

なお、アメリカのサウスカロライナ州で1692年に行われた魔女裁判の原因も、麦角菌による幻覚があったという説が存在する。ロフンビは「アメリカン・ワイルド」(2006)での事件を取り上げ、絞首刑となした20人の魔女に祈りを捧げた。彼はまた、自らも監督する映画『ロード・オブ・セイラム』(2013)でもセイラム魔女裁判を重要なキワートとして用いている。



▲マシュー・ホプキンスによる魔女発見のための手引書である『魔女の暴行』(1647年)。

写真出典:『ビジュアル・ヒストリー-アメリカ植民地時代から覇権国家の未来まで』アレクサンダー・デイヴィッド・ルベロ著/絶智道訳、東洋館林、2003年より引用

1845年

アイルランド大飢饉

神がシヤガイモをもたらした、イギリス人が飢饉をもたらした。 アイルランドは今も復興中

欧米人はシヤガイモを食べ、日本人が米を食べる以上、とにかくシヤガイモが食卓に並ぶ。フライドポテトやポテトポト、スープ、シチニ、コロケなど、ヨーロッパや北米において、シヤガイモは主食のひとつである。

実はシヤガイモの原産地は南米アンデス山脈の高地であり、ヨーロッパも北米でもないのだが、彼ら彼の食生活に欠かせない存在なのだ。ペギやフレンチ・フライ（ヘルキ人は「フレンチ・フライ」と呼ぶ）を世界進出しようという動きもあるはずだ。

そのシヤガイモの不作のせいで、国家レベルの危機が訪れたのが、1845年から1849年にかけてのアイルランド大飢饉だ。当時アイルランドの人口は約800万人だったが、シヤガイモ疫病による枯死、100万人が餓死、それに加えてシヤガイモ輸出産業が壊滅したこともあり、100万人がイギリスや国外に移住することになった。飢饉が終った後も人口は激減し、1910年には440万人にまで減少。独自のケルト文化やゲール語もまた、失われていくことになった。シヤガイモの不作が国家の存続に関わる大事件となったのは、歴史的にも珍しいことだ。

この歴史の重要事件を、アイルランドのミュージシャン達による視点から描写してきた。世界規模の音楽市場で初め成功を取ったロク・ケルト・グループであるシン・リジィは、アルバム「マギ師 ジョー」(1976)収録の「フルズ・ゴールド」で、大飢饉で餓死病から逃れた人々が新しい人生と希望を求めて新天地アメリカに向かうが、それは容易に手に入ることの出来ない、愚者の黄金に過ぎないと歌っている。

1845年当時アイルランドはイギリスの植民地だったが、これは大打撃を被ったのは、イギリス政府による実質的多次サイド大量虐殺だ。だがこの説もある。アイルランドでは1740年から1741年にかけても疫病のせいで飢饉が起こったが、この時は作物の輸出とトブ、国内向けの食料を確保して、だが、1845年の大飢饉ではそれが許されず、アイルランドは輸出を続けなければならなかった。19世紀アイルランドのナショナル・ミュージック・グループ「神がシヤガイモをもたらした、イギリス人が飢饉をもたらした」という言葉を残している。

ダブリン郊外で生まれたジョー・マギが「マギ師ジョー」(1994)に収録した「フミン」は、そんな視点から描かれた曲だ。ここでマギは歌うのでなく「飢饉なんてものはなかった」と語りかけてくる。「アイルランド人はシヤガイモが食卓には、時代を過ぎて切実に迫ってくる。

テラウリー出身のウォーリス・ブライアン、ギャブ・バリーを中心とする「ドナ・マタ」や「ドナ・マタ」の曲を「サイレスは、アルバム「フレイム・セイヴ・セイヴ」(2000)で、1845」という、直球を打ち込むタイトルの曲を収録している。「自分はアイルランド人である前地球人、地球の抱える問題について歌ってみたい」と語るマギは、この歌詞は、一般的な戦争の暴力、憎しみなどを歌っているが、あるアイルランドの歴史における重要な年号を曲のタイトルとして、この事件を世界中の人に知ってもらいたいと語っていた。それはこの曲によってある程度、功を奏したといえるだろう。

シヤガイモ大飢饉はアイルランドの歴史に大きな傷跡を残すことになった。20世紀の政治不安のせいであって、人口は増えなくなると、2011年現在の総人口は約450万人。飢饉前の人口に戻る日は、はたして来るのだろうか。170年という月日が経ったが、アイルランド復興は未だ成し遂げられていない。

この歴史の重要事件を、アイルランドのミュージシャン達による視点から描写してきた。世界規模の音楽市場で初め成功を取ったロク・ケルト・グループであるシン・リジィは、アルバム「マギ師 ジョー」(1976)収録の「フルズ・ゴールド」で、大飢饉で餓死病から逃れた人々が新しい人生と希望を求めて新天地アメリカに向かうが、それは容易に手に入ることの出来ない、愚者の黄金に過ぎないと歌っている。



資料8 都立アイルランド移民の時代の広場、ダブリン

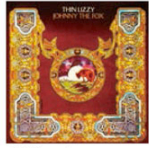
▲現在もアイルランド人は飢饉を忘れていない。ダブリンの広場にはアイルランド移民の歴史を伝える石碑が立ち並ぶ。

写真出典：『イギリスの歴史』(岩波新書)ミカエル・ライリー、ジェイミー・バロン、クリストファー・カレン著、前川一郎訳、明石書店、2012年より引用



「マギ師ジョー」収録「フルズ・ゴールド」収録

シン・リジィ



「マギ師ジョー」収録「フルズ・ゴールド」収録

シン・リジィ

1914年

第一次世界大戦勃発

西部戦線異状なし。 断崖の中で、兵士たちはシエルシヨック(PTSD)に悩まされていった

第一次世界大戦は有名のとおり、世界の多くの国が参戦した戦争だ。ヨーロッパを中心に、中東やアフリカにも戦線は拡大。アメリカや日本も直接的に関わり、死者数は1,500万人という膨大なものとなった。清も参戦した大平天の乱(1850~1864)の2千万人とは及ばないものの、凄まじい数字だ。

戦車、飛行機、機関銃などの新兵器は、より、効率的に人間を殺傷することを可能にした。射程距離と範囲の大幅な向上により、フランスやドイツでは塹壕戦が戦局を左右することになる。兵士たちは塹壕の中でと直面して戦後、シエルシヨック(心的外傷後ストレス障害、PTSD)が広く知られるようになった。

第一次世界大戦は、文学作品で戦争の哀しみや恐怖が描写されるようになった転換点でもあった。トルクの小説『西部戦線異状なし』(1916)は、一兵卒の死を、異状なしの戦線だという虚無感をテーマにしている。

ダルトン・トランプの『フョー』(1939)もまた、第一次大戦の悲劇を描いた小説だ。主人公が手足と視力、聴力、話す力を失ったこの物語は1911年、トランプ自身の監督映画化されたが、本作がインスピレーションを得たのがメタリカの『ワン』(1988)だ。この歌詞はほぼそのままをなしたもので、ビデオでは映画からのシーンも使われている。なお、フョーは戦場へ行った。江戸川乱歩が短編『芋虫』(1929)で戦争で

手足を失った軍人を主人公としている。山上つひの漫画『光る風』(1970)でも四肢欠損の傷痍軍人が器用に女性を犯そうとする。

フランス、キエフ、アフリカ監督の比較の初期作にあたる映画『聖戦』(1915)も、フランスの塹壕戦をストーリーの軸にしている。フランスの多岐にわたる戦線、連年のほろろで兵士たちが死んでいくが、自軍の陣地である塹壕でドイツ人の女捕虜をステジオに上げて「なんかが歌え」と歌わせる。彼女がドイツ民謡「ロク・ケルト・グループ」を歌い出すと、野次を飛ばす男たちが泣きだした。全員でロケを歌うのだ。この女捕虜を演じたクリスチン・ハラウはキエフで初め、わざわざ結婚して結婚したのは有名な話だ。戦いに疲れた兵士たちが歌を口ずさむシーンは、「フル・メタル・シング」(1987)で再現された(こちらは「ミキ・マウス・マナ」が歌われる)。

1916年のヴェルダンでの戦いはフランスとドイツの両陣営あわせて70万人が死に、同年ソムの戦いでは死者数は100万人以上。特に2月21日から18日にかけて行われたヴェルダンの戦いは狭い地域で戦間が長期化、戦場あちこちで死体が腐臭を放ち、春先の雨で足が泥沼化して、両軍ともに、地獄と形容する惨状だった。コロンボの「ス・タルバド、三ノシス・ロ、コロンボ」(1916) (1995)、そして「ヴェルダン」(1916) (1995)という2枚の作品は、この地獄絵図を音楽で表現しようとする試みだ。

なお1909年に日英同盟を締結していたため、イギリス・フランス・アメリカ・ロシアの連合軍軍につくことになった日本帝国軍は、ドイツが租借していた中国山東省の青島を陥落させた。さらにヨーロッパ戦線にも派兵しており、靖国神社では第一次大戦で亡くなった4,850人の死者が祀られている。

日本ドイツは敵同士となり、数多くのドイツ兵が捕虜として日本に連れてこられた。1918年、徳島の飯東俘虜収容所で彼らが演奏したが、日本の「第九交響曲」初演だ。彼らはまた、地元住民に「ヘルバント」を紹介し、子供たちにサカサを教えるなどした。そんな心温まる交流が数機とらたのかは不明だが、次の大戦では、日本ドイツはタグを組むことになる。

この歴史の重要事件を、アイルランドのミュージシャン達による視点から描写してきた。世界規模の音楽市場で初め成功を取ったロク・ケルト・グループであるシン・リジィは、アルバム「マギ師 ジョー」(1976)収録の「フルズ・ゴールド」で、大飢饉で餓死病から逃れた人々が新しい人生と希望を求めて新天地アメリカに向かうが、それは容易に手に入ることの出来ない、愚者の黄金に過ぎないと歌っている。



▲第一次世界大戦の主要な戦場のひとつだったヴェルダンの戦場

写真出典：『国史』(岩波新書)佐々木真、河出書房新社、2011年より引用



「ヴェルダン1916」

ニューロシスInc.



「メタル・ジャスティス」収録

メタリカ

【株式会社リットーミュージック】 <http://www.rittor-music.co.jp/>

□所在地:〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング □設立:1978年4月10日 □資本金:1億 6,900万円 □決算期:3月31日 □従業員数:93名(2014年3月31日現在) □代表取締役:古森優 □事業内容:音楽関連出版事業

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:関本彰大、証券コード:東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 営業統轄部出版営業部 宣伝広報 市原
Tel: 03-6837-4728/ E-mail: pr@rittor-music.co.jp